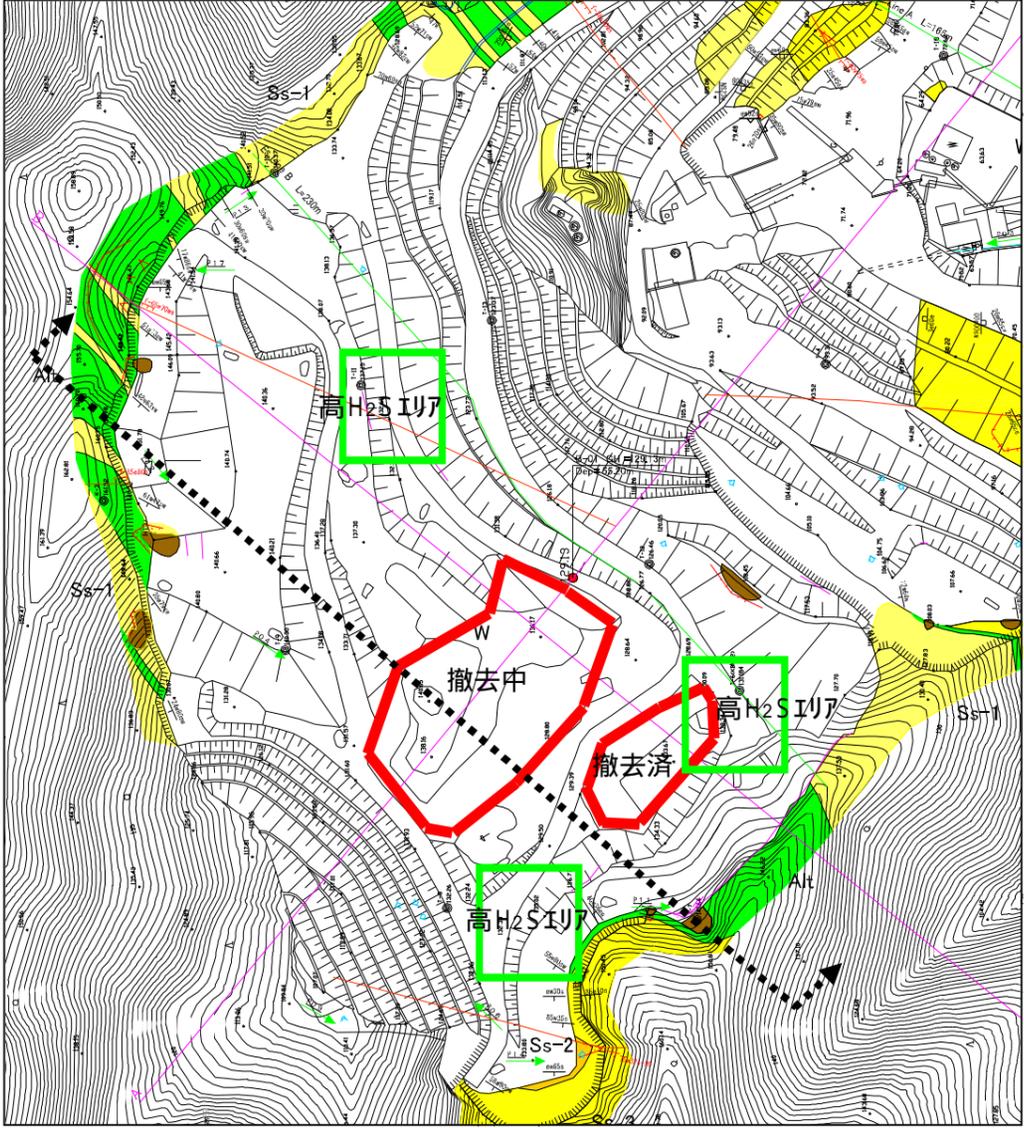
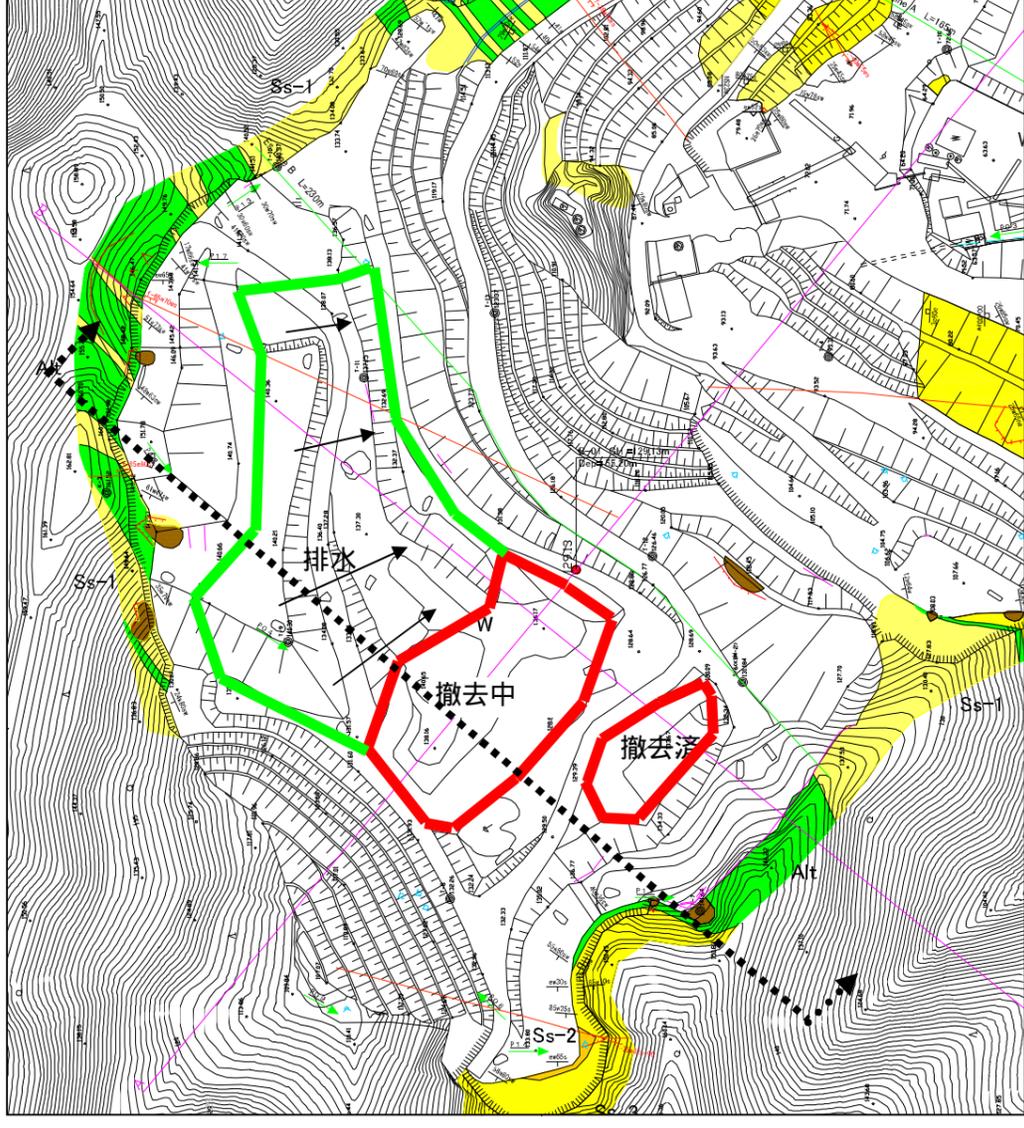
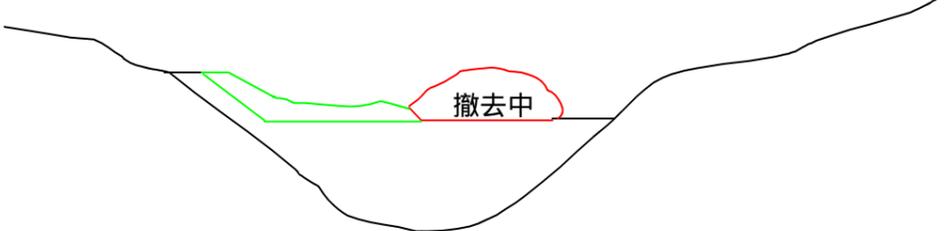


案	A 案	B 案
掘削エリア	対象エリアを限定し、スポット的に撤去 例えば、高濃度H ₂ Sエリア	上部平場エリアの広い範囲を前面に勾配をつけながら撤去し、背面沢側への雨水浸入を防止する
利点	掘削エリアを限定するため、覆土量が少なく済む	背面側へ流出していた排水を前面側に移すことができる 現在の掘削断面の継続作業となり、他に比べて施工性は良い
問題点	掘削方法及び養生方法に検討が必要 撤去エリアの特定が必要	撤去前に、測量・設計を行い、計画性を持って進める必要がある 掘削後の養生(覆土等)が必要となる
備考	 <p style="text-align: center;">横断面図</p> 	 <p style="text-align: center;">横断面図</p> 

共通問題点

ガス対策：掘削作業において、一時的に、高濃度ガスの発生が懸念されるため、安全管理等が必要。